Canon

SELPHY CP790

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド



日本語

- ご使用前に必ずこのプリンターユーザーガイドをお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

CDI-J394

セルフィーで、おもいでを残そう

ちっちゃいけど本格派。かわいくって、役に立つ。
セルフィーは、あなたの世界をどんどん広げてくれます。



セルフィーでできること

セルフィーを使うために必要な準備をしよう ―― p.10～p.12

使えるカードと印刷できる画像を確認しよう ―― p.13

画像を 1 枚印刷してみよう ―― p.14

画像をぜんぶ印刷してみよう ―― p.16

いろんな印刷をしてみよう ―― p.19～p.30

パソコンの画像を印刷してみよう ―― p.33～p.37

もくじ

箱に入っているものを確認しよう ―― 4

インクと用紙について（別売）―― 5

はじめにお読みください ―― 5

安全に使っていただくために ―― 6

このガイドの記載について ―― 7

セルフィーを知ろう ―― 8

セルフィーを置こう ―― 9

準備しよう ―― 10

画像を印刷しよう ―― 13

印刷が終わったらかたづけよう ―― 17

印刷した写真を保管しよう ―― 18

いろいろな印刷をしよう ―― 19

画像を切り抜いて印刷しよう（トリミング）―― 23

フレームをつけて印刷しよう ―― 25

画像にカレンダーをつけて印刷しよう ―― 27

絵日記を作って印刷しよう ―― 29

印刷する画像を探そう ―― 31

パソコンの画像を印刷しよう ―― 33

デジタルカメラとつないで印刷しよう ―― 38

カメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）―― 39

携帯電話の画像を印刷しよう ―― 40

バッテリーを使って印刷しよう ―― 42

セルフィーの設定を変えよう ―― 43

故障かな？と思ったら ―― 46

日ごろの取り扱いについて ―― 48

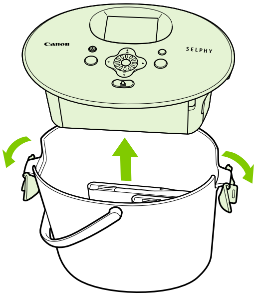
主な仕様 ―― 49

箱に入っているものを確認しよう

お使いになる前に、以下のものが入っていることを、□にチェックを入れながら確認してください。
万一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

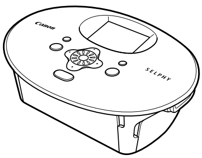
1 箱に入っているものを取り出す

2 バスケットに入っているものを取り出す

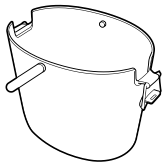


- 左右のバックルを外して、セルフィーを取り外します。
- バスケットの中に収納されている付属品を取り出します。

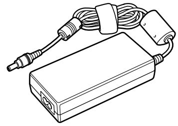
□ セルフィー本体



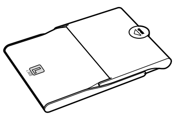
□ バスケット（収納ケース）



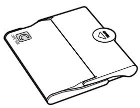
□ コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W



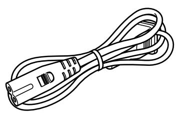
□ ペーパーカセット(L サイズ) PCL-CP300



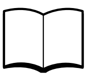
□ ペーパーカセット(カードサイズ) PCC-CP300



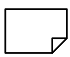
□ 電源コード



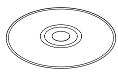
□ プリンターユーザーガイド（本書）



□ 保証書



□ COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk



インクと用紙について（別売）

お使いになる前に、カラーインク／ペーパーセットを別途購入してください。

カラーインク／ペーパーセット			必要なペーパーカセット
製品名	用紙の大きさ	印刷できる枚数	
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	L サイズ	36	ペーパーカセット PCL-CP300（本製品に付属）
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP 3PACK		108	
カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	カードサイズ	36	ペーパーカセット PCC-CP300（本製品に付属）
カラーインク／フルサイズラベルセット KC-18IF（全面シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）		18	
カラーインク／ペーパーセット KP-36IP（ポストカード）	ポストカードサイズ	36	ペーパーカセット PCP-CP300 *
カラーインク／ペーパーセット KP-72IN（写真用紙）		72	
カラーインク／ペーパーセット KW-24IP	ワイドサイズ	24	ペーパーカセット PCW-CP100 *

* カラーインク／ペーパーセットと一緒に、別途購入してください。

はじめにお読みください

著作権について

本製品で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

保証について

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の相談窓口へご相談ください。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、印刷される画像に影響はありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。

安全に使っていただくために

- ご使用の前に「安全に使っていただくために」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠ **警告**　死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

⚠ **注意**　傷害を負う可能性がある内容です。

注意　物的損害を負う可能性がある内容です。

⚠ 警告

本機器

- **分解、改造しない。**
- **落下などで破損したときは、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは、使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**

感電、火災の原因となります。
すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **指定外の電源は使わない。**

感電、火災の原因となります。

- **雷が鳴り出したら本機器や電源プラグに触れない。**

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

電源（コンパクトパワーアダプター）

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**

電源コードを誤って首に巻きつけると、窒息することがあります。

- **指定外の電源は使わない。**
- **電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭きとる。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**

感電、火災の原因となります。

その他

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠ 注意

- **本機器の内部には手を入れない。**
  けがや本機器の故障の原因となります。

- **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使わない。**
  感電、火災の原因となることがあります。

- **以下の場所で使用・保管しない。**
  ● 直射日光のあたるところ　● 40 度を超える高温になるところ　● 湿気やホコリの多いところ
  感電や発熱により、やけど、けが、火災の原因となることがあります。また、本機器が熱により変形することがあります。

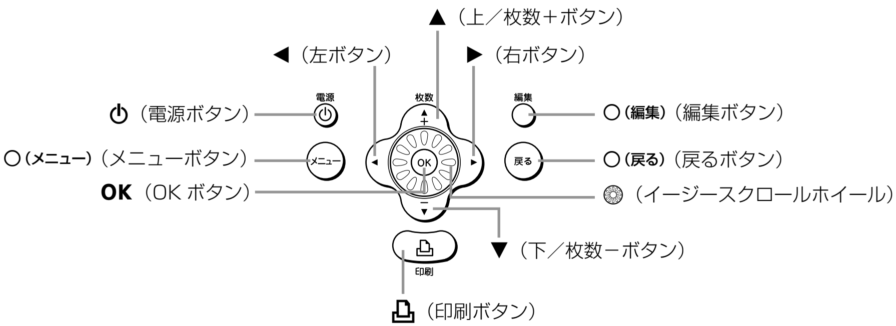
- **電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。**
  感電、火災、故障の原因となることがあります。

注意

- **コンパクトパワーアダプターは、使用しないときは、電源コンセントから外す。**
- **布などをかけたままコンパクトパワーアダプターを使用しない。**
  長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

このガイドの記載について

- 本プリンターのことを「セルフィー」または、「本機器」と記載しています。
- セルフィーで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- セルフィーのボタンは、ボタンに表記または、ボタンの周囲に表記されている絵文字を使って示しています。

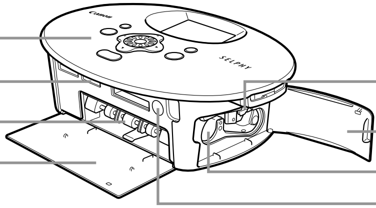


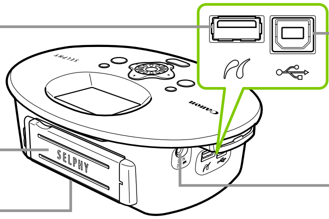
- 画面に表示される絵文字や文言は、［　］つきで示しています。
- ⓘ：注意事項を示しています。
- ✎：補足説明を示しています。
- (p.xx)：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。

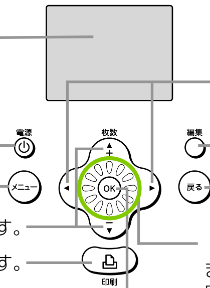
セルフィーを知ろう

ここでは、セルフィーの各部のなまえや画面の表示内容について説明します。

各部のなまえ







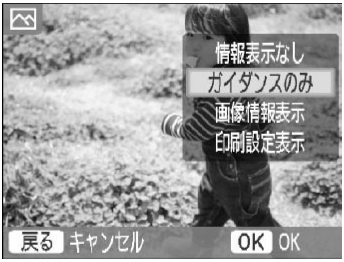
画面の表示内容一覧



● 上記の画面は、［画像情報表示］（p.9）にしたときの表示例です。

画面に表示される情報を切り換えよう

画面に表示される各種の情報を切り換えることができます。なお、ここで設定した内容は記憶されず、セルフィーの電源を切ると［ガイダンスのみ］に戻ります。



情報表示を切り換える

- 画像表示画面（p.14）の状態で、○（編集）を押します。
- ▲か▼を押すか、◎を回して［情報表示変更］を選び、**OK** を押します。
- ▲か▼を押すか、◎を回して目的の項目を選び、**OK** を押します。

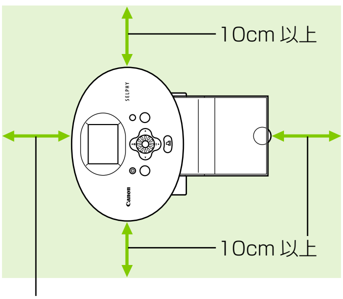

情報表示なし


ガイダンスのみ
（初期設定）


画像情報表示


印刷設定表示

セルフィーを置こう



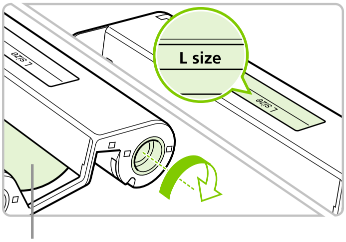
- 机などのしっかりしたものの上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には、絶対に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m 以上離してください。
- セルフィーの周囲は、10cm 以上をあけてください。
- セルフィーのうしろは、印刷する用紙の長さ以上をあけてください。（印刷時に用紙が出たり入ったりするため）

- モーターや強力な磁場を発生させる装置の近くにセルフィーを絶対に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビやラジオなどの近くにセルフィーを置かないでください。誤動作の原因となります。

準備しよう

画像を印刷するための準備をします。なお、ここでの説明は、L サイズのカラーインク／ペーパーセット（別売）（p.5）を使ったときを例に説明していますが、L サイズ以外のカラーインク／ペーパーセットを使うときに、操作が異なるときは、該当個所に必要な操作方法を記載しています。

インクを準備しよう



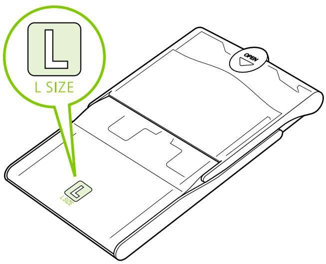
インクを確認する

- 印刷するペーパーセットの用紙と「用紙サイズ表示」（L size、Card size など）があっていることを確認します。
- インクシートにたるみがないか確認します。たるみがあるときは、図のように軸を回してたるみをとります。

インクシートを引っ張ったり、さわったり、濡れた手でインクを持たないでください。インクシートが切れたり、汚れや水滴がつくと、印刷できなくなります。

ペーパーカセットを準備しよう

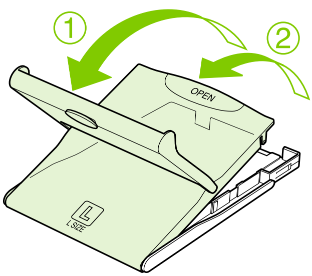
1



用紙サイズ表示を確認する

- 準備したインクと「用紙サイズ表示」（L SIZE、CARD SIZE など）があっているか確認します。

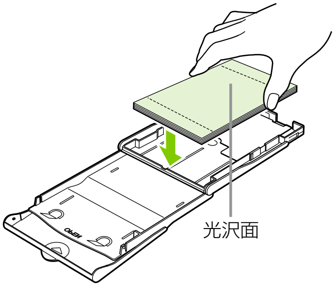
2



ふたを開ける

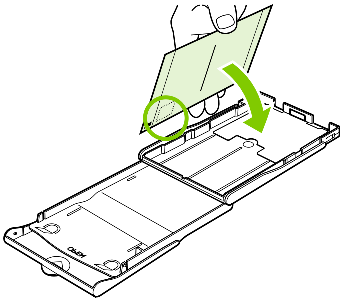
- ふたは 2 段階になっています。外ふたを開けてから①、中ふたを開けます②。
- ワイドサイズ用のペーパーカセット（別売）では、外ふたを開けたあと、中ふたを ▼ 方向にずらしてから開けます。

3



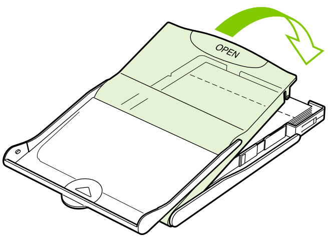
用紙を入れる

- 手順 1 で準備したペーパーカセットに、用紙を入れます。
- ペーパーカセットに入れられる用紙は 18 枚までです（ワイドサイズは 12 枚まで）。19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）の用紙を入れると、故障や誤動作の原因になります。
- 用紙を図のように持ち、光沢のある面を上にして入れます。（光沢のある面にはさわらないでください。きれいに印刷できなくなります）
- 用紙に「保護シート」がついているときは、保護シートを取り除いて、用紙だけを入れます。



- 切手欄のあるポストカードサイズのときは、図のように切手欄を中ふた側に向けて入れます。

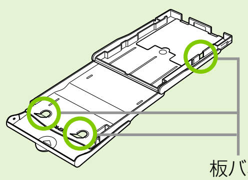
4



ふたを閉める

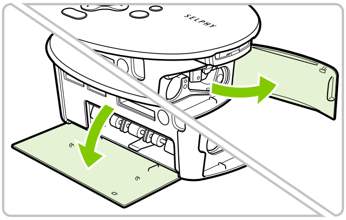
- 中ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。外ふたは印刷するときは開いたまま使います。
- ワイドサイズ用のペーパーカセット（別売）では、中ふたを閉めて、▼ とは逆の方向に「カチッ」と音がするまで中ふたをずらします。

- 用紙は、必ずキヤノン純正の「カラーインク／ペーパーセット」に入っている、セルフィー CP シリーズ専用用紙をお使いください。専用用紙以外の用紙や郵便はがき、セルフィー ES シリーズ専用用紙は使えません。
- 以下のことは絶対に行わないでください。誤動作や故障の原因となります。
  - 用紙の表（光沢のある面）と裏を間違えて入れる
  - 印刷前にミシン目のある用紙の、ミシン目を折り曲げたり、切り離す
  - はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使う
  - 印刷前の用紙に文字などを書き込む
  - 一度印刷した用紙を再使用する
  - 使い切ったインクを再使用する
- ペーパーカセットの板バネには触らないでください。
変形すると紙送りがうまくできなくなります。
- 用紙の表 (光沢のある面）をさわったり、こすったり、濡れた手で用紙を持たないでください。用紙の表に汚れや水滴がつくと、きれいに印刷できなくなります。



インクとペーパーカセットを入れよう

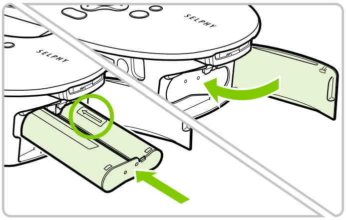
1



カバーを開ける

- ペーパーカセットカバーとインクカバーを開けます。

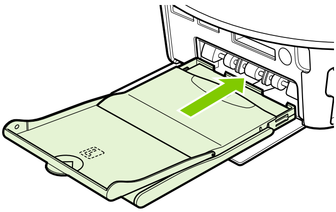
2



インクを入れる

- インクをインク上の矢印方向に、「カチッ」と音がして、ロックされるまで差し込みます。
- インクカバーを閉めます。

3

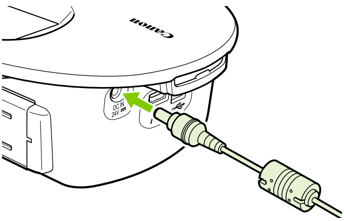


ペーパーカセットを取り付ける

- 外ふたが開いていることを確認して（p.11）、ペーパーカセットが突きあたるまで差し込みます。

電源をつなごう

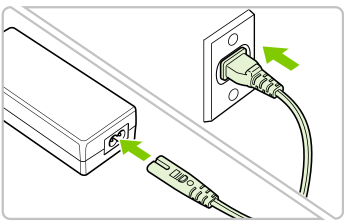
1



プラグをセルフィーにつなぐ

- アダプターのプラグをセルフィーの端子にしっかりと差し込みます。

2



電源コードをつなぐ

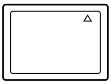
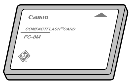
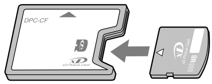
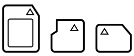
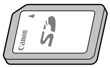
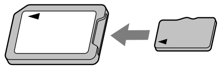
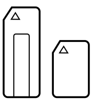
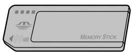
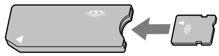
- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。

> ⚠ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

画像を印刷しよう

セルフィーにカードを差し込んで、カード内の画像を印刷することができます。

使えるカードを確認しよう

カードスロット （p.8、p.14） （セルフィーのカード差し込み口）	そのまま使えるカード	専用アダプター（市販品）を使うと使えるカード
 CF microdrive	 ● CF カード ● マイクロドライブ	 ● xD-Picture Card*1
 SD/miniSD MMC+ RS-MMC	 ● SD メモリーカード ● miniSD カード ● SDHC メモリーカード ● miniSDHC カード ● MultiMedia カード ● MMCplus カード ● HC MMCplus カード ● MMCmobile カード ● RS-MMC カード *2	 ● microSD カード ● microSDHC カード ● MMCmicro カード
 MS MS Duo	 ● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● メモリースティック デュオ ● メモリースティック PRO デュオ	 ● メモリースティックマイクロ

*1 動作確認済みアダプター：富士フイルム株式会社 DPC-CF　　*2 Reduced-Size MultiMediaCard

- アダプターが必要なカードは、必ずアダプターを使ってカードスロットに差し込んでください。アダプターを使わずにカードスロットに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
- 撮影した機器で初期化したカードをお使いください。パソコンで初期化したカードでは、画像を認識できないことがあります。

カードやアダプターの使いかたについては、カードやアダプターの使用説明書を参照してください。

印刷できる画像を確認しよう

セルフィーで印刷できるのは、以下の画像です。

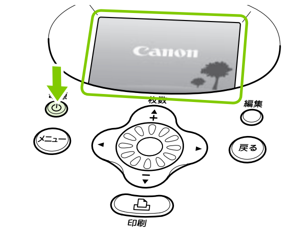
- Exif 規格に準拠した JPEG 画像

パソコンで編集した画像や、撮影時の画像サイズによっては正しく表示･印刷できないことがあります。

画像を選んで印刷しよう

画像を選び、印刷枚数を指定して印刷することができます。なお、ここでの説明は、SD カードを使ったときを例に説明していますが、SD カード以外のカードも、同じ操作で印刷できます。

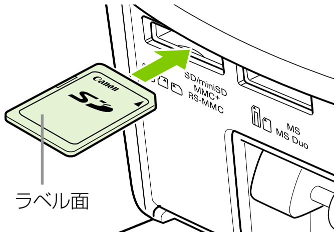
1



電源を入れる

- ⏻ を押したままにして、左の画面が表示されたら ⏻ をはなします。
- 電源を切るときは、もう一度 ⏻ を押します。

2



カードスロットにカードを 1 枚差し込む

- 印刷したい画像の入ったカードを、対応するカードスロットの奥に突きあたるまで差し込みます。

▶ 手順 3 の画面（画像表示画面）が表示されます。

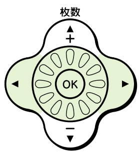
3



画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押して印刷したい画像を選びます。





- ◎ を回すと左の画面が表示され、6 枚以上の画像があるときは、◎ を回した方向に 5 枚単位で画像が切り換わります。
- 選ばれた画像は左上に拡大表示され、**OK** を押すと 1 枚表示になります。

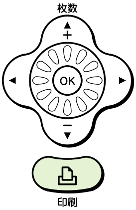
4



印刷枚数を選ぶ

- ▲ を一度押してから、▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- 1 画像につき 99 枚（または合計 999 枚）まで指定できます。
- 別の画像もいっしょに印刷するときは、もう一度、手順 3 と 4 の操作を繰り返します。

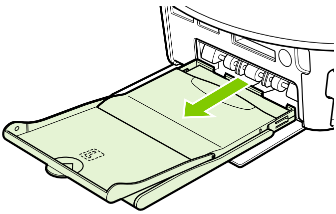
5



印刷する

- 印刷ボタン を押すと印刷がはじまります。
- 印刷中にセルフィーの背面から用紙が一時的に出てきますが、印刷が終わってペーパーカセットの上に出てくるまでは、用紙に触れないでください。
- 印刷された用紙は、ペーパーカセットの上に出てきますが、19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）はためないようにしてください。
- 印刷を途中で中止するときは、○(戻る) を押します。

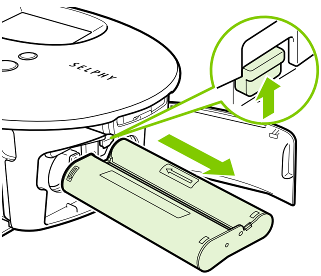
6



用紙を入れる

- 用紙がなくなったら、ペーパーカセットをセルフィーから抜きます。
- 新しい用紙を入れて、もう一度セルフィーに差し込みます （p.11、p.12）。

7



インクをかえる

- インクがなくなったら、インクカバーを開けて、ロックを図の方向へ動かすとインクが出てきます。
- 新しいインクを入れます （p.12）。

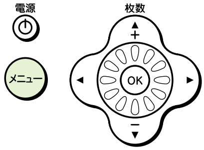
電源を入れて、セルフィーの動作音がしている間や印刷中は、「ペーパーカセットを抜く」、「インクカバーを開ける」、「カードを抜く」ことは、絶対にしないでください。故障の原因となります。

- 印刷指定した総画像数が「0 枚」のときに 印刷ボタン を押すと、画面に表示されている画像が 1 枚印刷されます。
- セルフィーを約 5 分以上使わないと、節電のため自動的に電源が切れます。（p.44）

すべての画像を印刷しよう

カード内に保存されているすべての画像を、一括して印刷することができます。

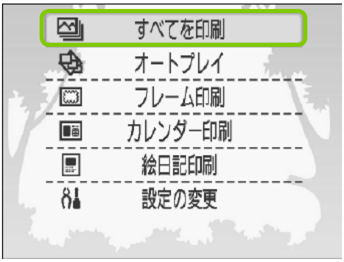
1

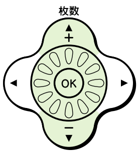


メニューを表示する

- ○（メニュー）を押します。

2



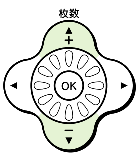


設定画面を表示する

- ▲か▼を押すか、◎を回して［すべてを印刷］を選び、**OK** を押します。

3

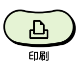




印刷部数を選ぶ

- ▲か▼を押して印刷部数を指定します。
- 部数は 99 部まで指定できます。
- ▶ カード内に保存されている画像が 1000 枚を超えるときは、撮影日時が新しい順に 999 枚までの画像が印刷されます。

4



印刷する

- 印刷ボタンを押すと印刷がはじまります。
- 印刷を途中で中止するときは、○（戻る）を押します。

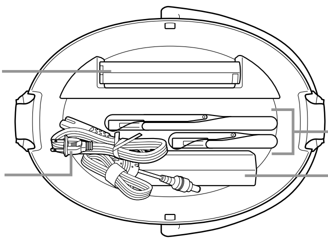
印刷が終わったらかたづけよう

印刷が終わったら以下の手順でかたづけ、保管します。

- 電源を切り（p.14）、カードを抜きます。
- 電源コードのプラグをコンセントから抜き、アダプターのプラグをセルフィーから抜きます。
- アダプターが熱いときは、冷ましてからかたづけてください。
- ペーパーカセットを抜き、ペーパーカセットカバーを閉めます。残った用紙はペーパーカセットに入れたまま外ふたを閉めます。
- インクは、セルフィーに入れたまま保管します。

付属品をバスケットに入れよう

取り外した付属品は、バスケットに入れてかたづけます。

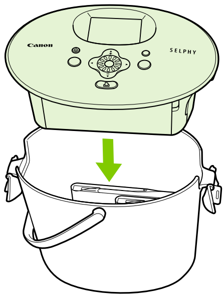


バスケットには、絶対に付属品以外は入れないでください。バスケットや付属品が破損し、故障の原因となります。

- 包装から出す前の用紙は、包装を開けず、暗いところに保管してください。
- 複数のインクがあるときは、1 つをセルフィーに入れ、もう 1 つはバスケットに入れてください。それ以外のインクは、インクシートにホコリがつかないよう袋に入れて、暗いところに保管してください。

セルフィーをかたづけよう

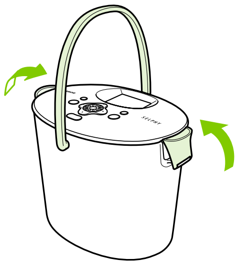
1



バスケットにセルフィーをのせる

- 左右のバックルが開いていることを確認して、セルフィーをバスケットにのせます。
- セルフィーとバスケットの間に、指をはさまないよう十分注意してください。

2

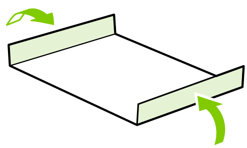


バックルをロックする

- 左右のバックルを持ち上げて、「カチッ」と音がするまで押し込みロックします。
- セルフィーを持ち運ぶときは、必ず上記の手順でバックルをロックしたあと、取っ手を持って運んでください。
- セルフィーは、水平にしてホコリがかからない、暗い場所に保管します。

> セルフィーにホコリが入ったり、用紙やインクにホコリがつくと、きれいに印刷できなくなります。

印刷した写真を保管しよう



- 写真の両側にミシン目があるときは、ミシン目を折り曲げると切り取ることができます。
- 写真に文字を書くときは、油性ペンで書いてください。
- 「40 度を超える高温になるところ」、「湿気やホコリの多いところ」、「直射日光があたるところ」では、写真を保管しないでください。
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に「粘着テープなどを貼る」、「ビニール製のデスクマット、名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる」、「アルコールなどの揮発性溶剤をつける」、「他の物に密着させたまま放置する」などはしないでください。
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。

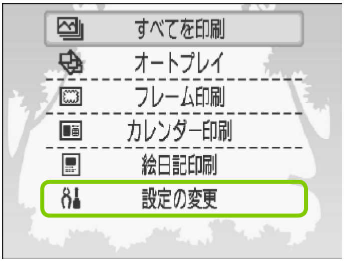
> 保存状態や時間の経過によって、印刷面が変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

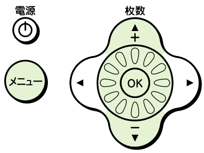
いろいろな印刷をしよう

撮影した日付を入れて印刷したり、画像の色調を変えて印刷するなど、いろいろな印刷をすることができます。また、設定した内容は、印刷するすべての画像に反映されるため、画像ごとに設定する必要はありません。

設定しよう

1

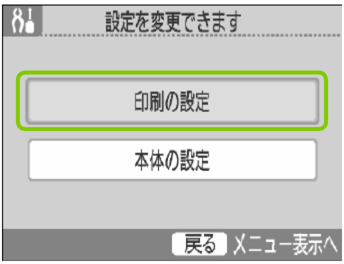


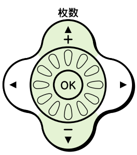


設定の変更画面を表示する

- 〇(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、 を回して［設定の変更］を選び、**OK** を押します。

2

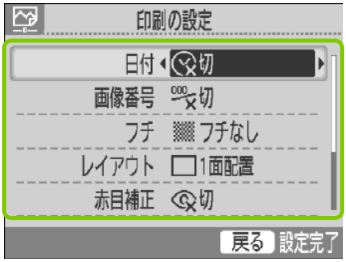


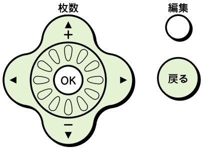


印刷の設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押すか、 を回して［印刷の設定］を選び、**OK** を押します。

3

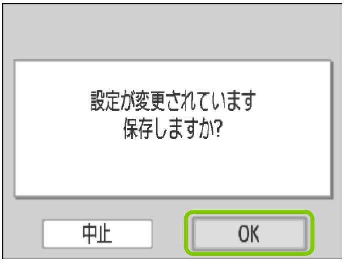


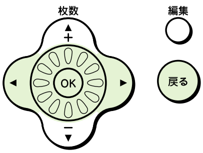


項目を選んで設定を変える

- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して各項目を選びます。
- ◀ か ▶ を押して設定を変え、○（戻る）を押すと確認画面が表示されます。
- 設定できる内容は、（p.20 ～ p.22）を参照してください。

4





設定する

- ◀ か ▶ を押すか、◎ を回して［OK］を選び、**OK** を押すと設定されます。
- メニュー画面が表示されますので、○（戻る）を押して画像表示画面に戻ります。

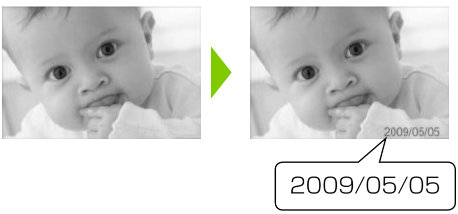
5



印刷する

- 印刷する画像（p.14）と、印刷する枚数（p.15）を選び、印刷ボタンを押して印刷します。

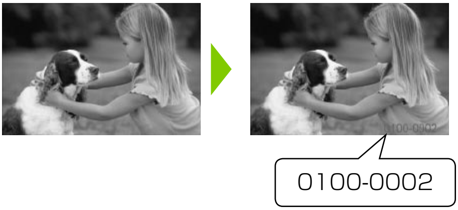
日付を入れて印刷しよう（日付）



- 撮影した日付を、写真に入れて印刷することができます。
- 切（初期設定項目）、入

- 印刷される日付は、カメラが撮影時に画像へ記録した日付です。そのため、セルフィーでは変更できません。
- 日付のスタイル（並び順）を変えることができます（p.22）。

画像番号を入れて印刷しよう（画像番号）



- 画像番号を、写真に入れて印刷することができます。
- 切（初期設定項目）、入

フチあり／なしで印刷しよう（フチ）



- フチありまたは、フチなしで画像を印刷することができます。
- フチなし（初期設定項目）、フチあり

> カードサイズの用紙 (p.5) では、[フチあり] を選んでいても、[レイアウト] で [8 面配置] を選ぶと、フチなしの画像が印刷されます。

レイアウトを選んで印刷しよう（レイアウト）



- 1 枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。印刷枚数を指定した画像が (p.15)、設定したレイアウトで印刷されます。

1 面配置（初期設定項目）	–	8 面配置	1 枚の用紙に 8 枚の画像が印刷されます
2 面配置	1 枚の用紙に 2 枚の画像が印刷されます	インデックス	画像がインデックス印刷されます
4 面配置	1 枚の用紙に 4 枚の画像が印刷されます	89 × 55mm 7 × 10cm 4" × 6"	用紙の左側に画像が印刷され、右側は印刷後にメッセージなどが書き込める余白になります。

- カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）(p.5) では、[8 面配置] に設定してください。
- カードサイズ用紙 (p.5) では、[89 × 55mm]、[7 × 10cm]、[4" × 6"] は設定できません。

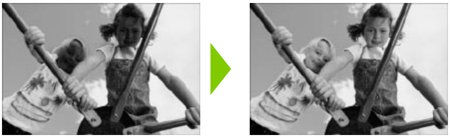
> - 画像の配置は指定できません。
> - レイアウトの設定によっては、フチ、赤目補正 (p.22)、自動写真補正 (p.22)、マイカラー (p.22) の設定が無効になることがあります。無効になる設定については、各項目を参照してください。
> - ［インデックス］を選んでいるときに［すべてを印刷］(p.16) を選ぶと、カード内のすべての画像を一覧で印刷できます。

人の赤目を補正して印刷しよう（赤目補正）

- 目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
- 切（初期設定項目）、入

- 「顔が画面全体に対して極端に小さい／大きい」、「顔が暗い／明るい」、「顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている」などの画像では、赤目が検出されなかったり、思いどおりに補正されないことがあります。
- 赤目以外の部分を誤って補正することがあります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ［入］に設定してください。
- ［レイアウト］（p.21）で［4 面配置］、［8 面配置］、［インデックス］を選んでいるときは、赤目補正は行われません。

自動補正で最適な写真にしよう（自動写真補正）



- 最適な画質となるよう、セルフィーが自動的に画質を補正します。
- 切、入（初期設定項目）

画像によっては、正しく補正されないことがあります。

［レイアウト］（p.21）で［インデックス］を選んでいるときは、自動写真補正は行われません。

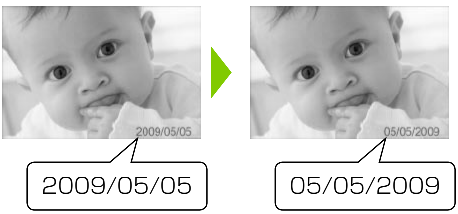
画像の色調を変えて印刷しよう（マイカラー）

- 通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

切（初期設定項目）	–	白黒	白黒になります
くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります	ポジフィルム	ポジフィルムのように自然で色鮮やかな色調になります
すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色調になります	色白肌	人の肌が色白になります
セピア	セピア調になります	褐色肌	人の肌が褐色になります

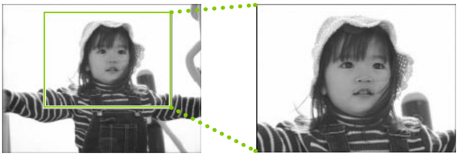
［レイアウト］（p.21）で［インデックス］を選んでいるときは、マイカラーの調整内容は適用されません。

日付スタイル（並び順）を選んで印刷しよう（日付スタイル）



- 日付を入れて印刷（p.20）するときの日付の並び順を、変えることができます。
- 年 / 月 / 日（初期設定項目）、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年

画像を切り抜いて印刷しよう（トリミング）



● 画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。

1

画像を選ぶ（p.14）

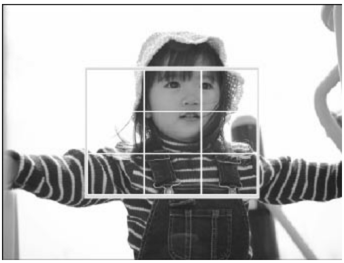
2



トリミング画面を表示する

● ○(編集) を押します。
● ▲ か ▼ を押すか、を回して［トリミング］を選び、**OK** を押します。
▶ 画面に切り抜く範囲を示す枠が表示されます。

3



切り抜く範囲を縦か横に決める

● ○(編集) を押すごとに、縦表示、または横表示になります。

4



切り抜く位置と大きさを決める

● ▲、▼、◀、▶ を押して位置を移動します。
● を右へ回すと大きくなり、左へ回すと小さくなります。

5



設定する

- **OK** を押すと切り抜く範囲が設定され、画像表示画面に戻ります。
- 別の画像も切り抜いて、いっしょに印刷するときは、もう一度手順 1 ～ 5 の操作を行います。
- 切り抜き範囲を設定したあとに切り抜きをやめたいときは、○(編集) を押して表示されるメニューから［トリミング解除］を選び、**OK** を押して、もう一度 **OK** を押します。

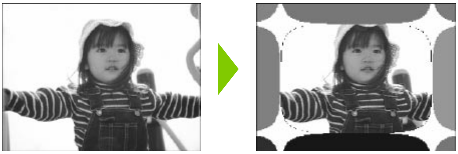
6

印刷する

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- 印刷ボタン を押すと印刷が始まります。
- ▶ 印刷が終わると、設定した切り抜き範囲は解除されます。

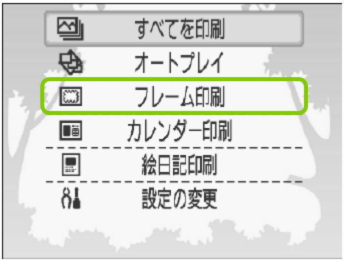
- 640 × 480 画素よりも小さい画像や 5616 × 3744 画素よりも大きい画像、縦横比 16:9 よりも細長い画像を切り抜くことはできません。
- 切り抜く範囲を一度に設定できるのは、最大 50 画像です。
- ［フレーム印刷］(p.25)、［カレンダー印刷］(p.27)、［絵日記印刷］(p.29) でも、画像を切り抜くことができます。
- 設定した切り抜き範囲は、印刷前にセルフィーの電源を切るか、カードを抜くと、すべて解除されます。

フレームをつけて印刷しよう



- お気に入りの画像に、フレームをつけて印刷することができます。

1



フレーム印刷画面を表示する

- ○(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して［フレーム印刷］を選び、**OK** を押します。

2



画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押すか、◎ を回して画像を選び、**OK** を押します。
- ○(編集) を押すと、編集メニューが表示され、画像ジャンプ (p.32)、情報表示の変更 (p.9) ができます。

3



フレームを選ぶ

- ◀ か ▶ を押すか、◎ を回してフレームを選び、**OK** を押します。

4



画像の大きさや位置を決める

- ◎ を右へ回すと画像が大きくなり、左へ回すと小さくなります。
- ▲、▼、◀、▶ を押して画像を移動します。
- ○(編集) を押すたびに、90 度単位で画像が回転します。
- **OK** を押すと設定されます。

5

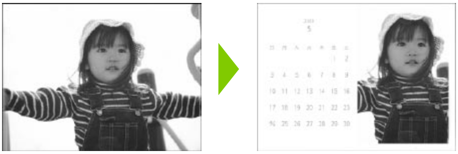


印刷する

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- 印刷ボタン を押すと印刷が始まります。

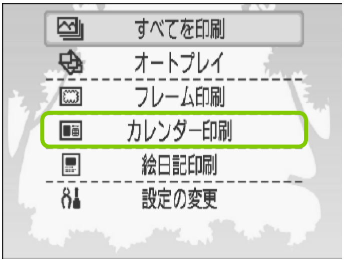
- 「いろいろな印刷をしよう」で設定した［赤目補正］(p.22)、［自動写真補正］(p.22)、［マイカラー］(p.22) 以外の機能は適用されません。
- ［マイカラー］(p.22) で画像の色調を変えたときは、画像の色調は変わりますが、フレームの色調は変わりません。
- 640 × 480 画素よりも小さい画像や、縦横比 2:1 よりも大きい比率の画像にフレームをつけることはできません。

画像にカレンダーをつけて印刷しよう



- お気に入りの画像に、カレンダーをつけて印刷することができます。

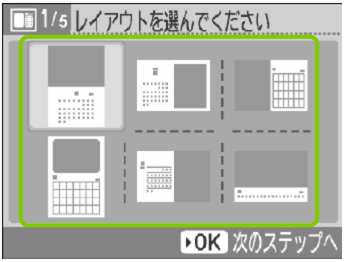
1



カレンダー印刷画面を表示する

- ○(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して［カレンダー印刷］を選び、**OK** を押します。

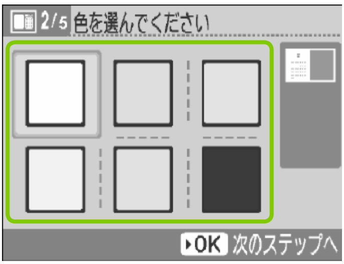
2



レイアウトを選ぶ

- ▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回してレイアウトを選び、**OK** を押します。
- レイアウトの種類は、L サイズ、ポストカードサイズの用紙では 6 種類、カードサイズの用紙では 5 種類、ワイドサイズの用紙では 2 種類から選ぶことができます。

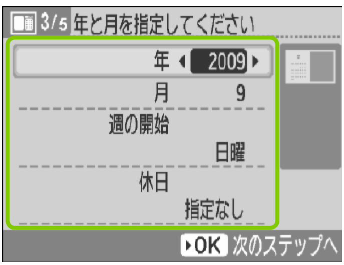
3



背景の色を選ぶ

- ▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回して色を選び、**OK** を押します。

4



年、月、週の開始（週始めの曜日）、休日を設定する

- ▲ か ▼ を押して項目を選び、◀ か ▶ を押すか、◎ を回して設定します。
- **OK** を押します。

5



休日を追加するか、しないかを選ぶ

- 休日を追加するときは、◀ か ▶ を押すか、 を回して［追加する］を選び、**OK** を押します。
- 休日を追加しないときは、◀ か ▶ を押すか、 を回して［次のステップへ］を選び、**OK** を押して手順 7 へすすみます。

6



休日を追加する

- ▲、▼、◀、▶ を押すか、 を回して休日に設定する日を選び、**OK** を押します。
- ▶ 選んだ日が赤くなり、休日に設定されます。
- もう一度 **OK** を押すと、設定が解除されます。
- 設定を終えたら、○(戻る) を押します。
- ▶ 手順 5 の画面に戻ります。◀ か ▶ を押すか、 を回して［次のステップへ］を選び、**OK** を押します。

7



画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押すか、 を回して画像を選び、**OK** を押します。
- ○(編集) を押すと、編集メニューが表示され、トリミング（p.23）、画像ジャンプ（p.32）、情報表示の変更（p.9）ができます。

8



画像を確認して印刷する

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- を押すと印刷が始まります。

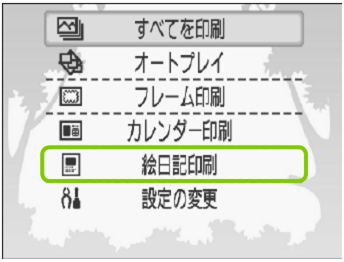
- 「いろいろな印刷をしよう」で設定した［赤目補正］（p.22）、［自動写真補正］（p.22）、［マイカラー］（p.22）以外の機能は適用されません。
- ［マイカラー］（p.22）で画像の色調を変えたときは、画像の色調は変わりますが、カレンダーの色調は変わりません。
- 640 × 480 画素よりも小さい画像を、カレンダー印刷することはできません。

絵日記を作って印刷しよう



- お気に入りの画像に撮影日時を入れて、絵日記として印刷することができます。
- お好みのスタンプ（最大 2 個）を選んで、一緒に印刷することができます。

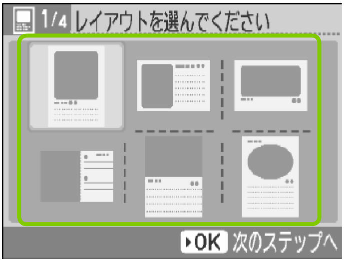
1



絵日記印刷画面を表示する

- ○(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して［絵日記印刷］を選び、**OK** を押します。

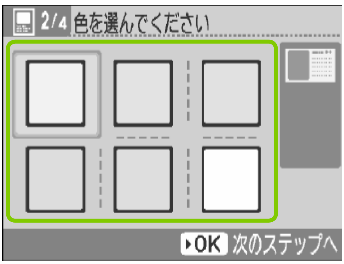
2



レイアウトを選ぶ

- ▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回してレイアウトを選び、**OK** を押します。
- レイアウトの種類は、L サイズ、カードサイズ、ポストカードサイズの用紙では 6 種類、ワイドサイズの用紙では 2 種類から選ぶことができます。

3



背景の色を選ぶ

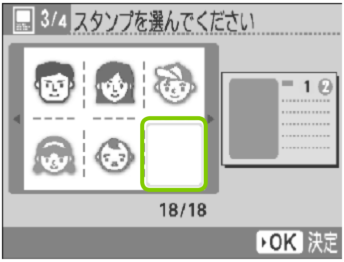
- ▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回して色を選び、**OK** を押します。

4



スタンプを選ぶ

- ▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回して、画面上の［①］に印刷するスタンプを選び、**OK** を押して設定します。
- 引き続き、画面上の［②］に印刷するスタンプを同じ操作で選び、**OK** を押します。



- スタンプを印刷しないときは、▲、▼、◀、▶ を押すか、◎ を回して左の画面を表示し、右下の空欄を選びます。

5



画像を選ぶ

- ◀ か ▶ を押すか、◎ を回して画像を選び、**OK** を押します。
- ○(編集) を押すと、編集メニューが表示され、トリミング （p.23）、画像ジャンプ （p.32）、情報表示の変更 （p.9） ができます。

6



画像を確認して印刷する

- ▲ か ▼ を押して印刷枚数を選びます。
- 🖶 を押すと印刷が始まります。

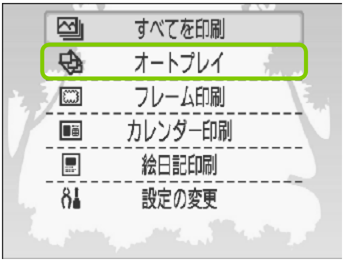
- 「いろいろな印刷をしよう」の［日付］を［切］に設定 （p.20） しても、日付は印刷されます。また、［赤目補正］（p.22）、［自動写真補正］（p.22）、［マイカラー］（p.22）、［日付スタイル］（p.22） 以外の機能は設定しても適用されません。
- ［マイカラー］（p.22） で画像の色調を変えたときは、画像の色調は変わりますが、絵日記の色調は変わりません。
- 640 × 480 画素よりも小さい画像を、絵日記印刷することはできません。

印刷する画像を探そう

オートプレイ（自動再生）で探そう

カードに保存されているすべての画像を画像番号順に自動再生（3 秒おきに画像を表示）し、画像を探して印刷することができます。

1



画像を自動再生する

- ○(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、 を回して［オートプレイ］を選び、**OK** を押します。
- ▶ 画像を読み込む画面が表示され、画像の再生がはじまります。

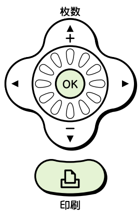
2



画像を見る

- 1 枚の画像が約 3 秒ずつ自動再生されます。
- 再生中に ◀ か ▶ を押すか、 を回すと、画像を切り換えられ、◀ か ▶ を押したままにすると、早送りできます。
- 再生を終えるときは、○(戻る) を押します。

3



画像を選んで印刷する

- **OK** を押すと再生が一時停止し、もう一度 **OK** を押すと再生が再開されます。
- 一時停止している状態で を押すと、表示されている画像が印刷されます。
- ▶ 印刷が終わると、再生が再開されます。

- 「いろいろな印刷をしよう」の［レイアウト］(p.21)で、［1 面配置］以外に設定しても、［1 面配置］で印刷されます。
- 自動再生で画像が切り換わるときの効果を設定することができます (p.45)。

ジャンプ機能で探そう

選んだ条件で目的の画像を表示（ジャンプ）することができます。

1



ジャンプ画面を表示する

- 画像表示画面（p.14）の状態で、〇（編集）を押します。
- ▲か▼を押すか、を回して［画像ジャンプ］を選び、**OK** を押します。

2



条件を選んでジャンプする

- ▲か▼を押して条件を選び、◀か▶を押すか、を回してジャンプします。
- （日付ジャンプ）を選んだときは、▶か **OK** を押してジャンプモードに入ります。▲か▼を押して日付を選び、◀か▶を押すか、を回すと、選んだ日付の画像のみが表示されます。

ジャンプ条件	ジャンプ内容
（10 枚ジャンプ）	10 枚先の画像を表示します。
（50 枚ジャンプ）	50 枚先の画像を表示します。
（100 枚ジャンプ）	100 枚先の画像を表示します。
（選択画像ジャンプ）	印刷枚数を指定した画像（p.15）を表示します。
（日付ジャンプ）	日付ごとに画像を表示します。

画像を絞り込んで表示する

1



日付絞込み表示にする

- （日付ジャンプ）を選んで、▶か **OK** を押します。
- ▲か▼を押して日付を選び、**OK** を押します。
- ▶ が表示され、選んだ日付の画像のみが表示される、日付絞り込み表示になります。

2

絞り込んだ画像を表示する

- ◀か▶を押すか、を回すと、選んだ日付の画像のみが表示されます。
- 日付絞り込み表示を解除するときは、〇（編集）を押すと表示されるメニューから、［日付絞り込み解除］を選びます。

パソコンの画像を印刷しよう

パソコンにセルフィーをつなぎ、付属のソフトウェアを使うと、セルフィー単体ではできない、画像を一覧しながらの印刷や、いろいろな印刷ができます。また、音声による操作案内もありますので、パソコンに不慣れなかたも、かんたんに印刷することができます。



一覧からお好みの画像を選んで印刷

- 画像を一覧しながら、印刷したい画像を選んで、まとめて印刷することができます。



飾りをつけて印刷

- 画像にフレームやスタンプをつけて印刷することができます。また、画像に文字を入れて印刷することもできます。



カレンダー印刷

- 画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

用意するもの

- セルフィーとパソコン
- 付属の CD-ROM（COMPACT PHOTO PRINTER Solution Disk）（p.4）
- USB ケーブル（長さが 2.5m 以下の市販品）（セルフィー側の端子は Type B）

使えるパソコンを確認しよう

	Windows	Macintosh
OS	Windows Vista（Service Pack 1 を含む） Windows XP Service Pack 2、 Service Pack 3	Mac OS X v10.4 ～ v10.5
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB 接続部が標準装備されていること	
CPU	Pentium 1.3GHz 以上	PowerPC G4/G5 または Intel プロセッサー
RAM	Windows Vista：1GB 以上 Windows XP：512MB 以上	512MB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	80MB 以上	100MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上	1,024 × 768 ドット以上

- インストールには CD-ROM ドライブが必要です

Windows XP と Mac OS X 10.5 を使ったときを例に説明しています。

1

ソフトウェアをインストールする

Windows



- CD-ROM をパソコンのドライブに入れて、左の画面が表示されたら［おまかせインストール］をクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって進めてください。



▶ インストールを進めると左の画面が表示されます。

Macintosh



- CD-ROM をパソコンのドライブに入れ、CD-ROM 内の［ ］をダブルクリックします。
- 左の画面が表示されたら、［インストール］をクリックして、表示される画面にしたがって操作を進めます。
- インストールが終わると表示される画面で［はい］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

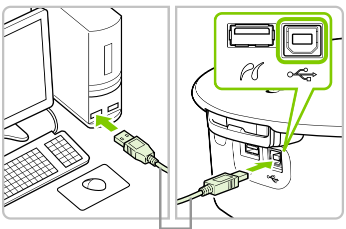
2

セルフィーの準備をする

- セルフィーの電源を切り、カードを抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます（p.10 ～ p.12）。

3

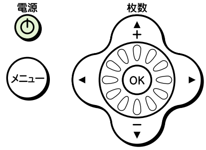
セルフィーとパソコンをつなぐ



市販の USB ケーブル

- USB ケーブルでセルフィーとパソコンをつなぎます。
- USB ケーブルの使いかたや、パソコンとのつなぎかたについては、それぞれの使用説明書を参照してください。

4



セルフィーの電源を入れる

● ⏻ ボタンを押して、電源を入れます。

Windows

● インストールが終わると表示される画面で［再起動］をクリックし、パソコンを再起動してインストールを終えます。

5



ソフトが立ち上がったことを確認する

▶ セルフィーとパソコンが通信できる状態になると、ソフトが立ち上がって、左の画面が表示されます。

● 次回使うときは、手順２～４の操作を行うと、ソフトが自動的に立ち上がって使えるようになります。

Windows

● 左の画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［SELPHY Photo Print］▶［SELPHY Photo Print］を選びます。

Macintosh

● 左の画面が表示されないときは、下記の手順でプリンターの登録操作を行います。
メニューの［ ］を選び、［システム環境設定］→［プリントとファクス］の順にクリックして［プリントとファクス］画面を表示します。[+] を押して表示される画面で［CP790］を選び、［追加］をクリックします。
登録操作を終えたら、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［SELPHY Photo Print］アイコンをクリックすると、左の画面が表示されます。

- USB ハブを介してセルフィーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
- 他の USB 機器（USB マウス、USB キーボードを除く）と同時に使うと、正しく動作しないことがあります。他の USB 機器をパソコンから外して、もう一度つないでください。
- セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。セルフィーをパソコンの USB 接続部につないでいる状態でパソコンをスタンバイ状態にしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スタンバイ状態から回復してください。
- パソコンの操作方法については、お使いのパソコンの使用説明書を参照してください。

パソコンの画像を印刷しよう

インストールしたソフト（SELPHY Photo Print）を使って、パソコンに保存されている画像を印刷することができます。
ここでは、画像を一覧しながら印刷したい画像を選んでまとめて印刷することができる、［そのまま印刷する］の機能について説明します。なお、必要な操作は音声で案内されますので、スピーカーのあるパソコンでは、音声が出るように設定することをおすすめします。

1



印刷メニューを表示する

- ［印刷メニューへ］をクリックします。
- 印刷するための準備（ペーパーカセット、インクを入れるなど）ができていないときは、［印刷メニューへ］がクリックできません。音声の案内や、画面の表示にしたがって、必要な操作を行ってください。

2



印刷方法を選ぶ

- ［そのまま印刷する］をクリックします。
- ［飾り付けて印刷する］をクリックすると、画像にフレーム、スタンプ、ふきだしをつけて印刷することができます。
- ［カレンダーを印刷する］をクリックすると、画像にカレンダーをつけて印刷することができます。

3

画像を選ぶ

▶ Windows のときは［マイピクチャ］フォルダ、Macintosh のときは［ピクチャ］フォルダ内の画像が、一覧表示されます。

- 印刷する画像を選んでクリックします。

▶ 背景の色が変わり、印刷する画像に指定されます。

- 同じ操作で、印刷したいすべての画像をクリックします。
- もう一度クリックすると、背景の色がもとに戻り、印刷の指定が解除されます。

表示する画像の条件を選べます。



このボタンを押して表示される画面でフォルダを選ぶと、別のフォルダに保存されている画像を表示することができます。

4



［−］か［+］を押して印刷する枚数を指定します。

印刷する枚数を指定して印刷する

- 画像ごとに、印刷する枚数を指定します。
- ［印刷］をクリックすると印刷がはじまります。

5

終了する

Windows

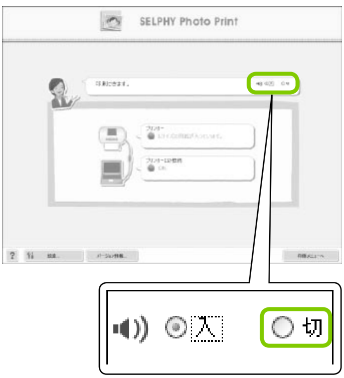
- すべての印刷が終わったら、画面右上の ☒ をクリックします。

Macintosh

- すべての印刷が終わったら、画面左上の ⊗ をクリックします。

音声ガイドを切る

お使いのパソコンによっては、音声ガイドが正しく再生できないことがあります。音声ガイドが聞きづらいときは、以下の手順で、音声ガイドを［切］にしてお使いください。



音声ガイドを切る

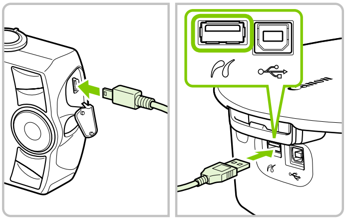
- 「パソコンの画像を印刷しよう」（p.36）の手順 1 の画面で、ラジオボタンの［切］を選びます。

▶ 音声ガイドが［切］になります。

デジタルカメラとつないで印刷しよう

PictBridge に対応したカメラをつなぐと、カメラで選んだ画像を直接印刷することができます。ここでは、例としてキヤノン製カメラをつないだ印刷方法を説明しますが、お使いになるカメラと操作方法が異なるときは、カメラの使用説明書を参照してください。

1 **セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する**

2 

カメラに付属のインターフェースケーブル（USB ケーブル）でセルフィーとカメラをつなぐ

3 

セルフィー、カメラの順に電源を入れ、カメラの画像を再生する

▶ お使いになるカメラによっては、カメラの画面に が表示されます。

4 **カメラで画像を選び、印刷に必要な設定をする**

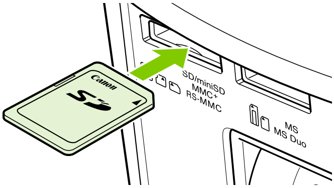
▶ 印刷がはじまります。

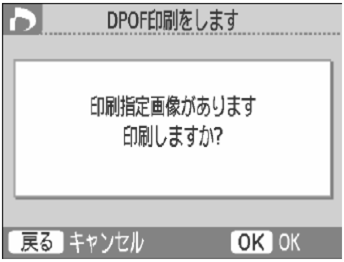
- 印刷中は、セルフィーの ○（戻る）で印刷を中止できません。カメラを操作して中止してください。
- PictBridge とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定した統一規格です。メーカーや機種を問わず、カメラやビデオカメラを直接プリンターにつなぎ、パソコンを経由せずにダイレクトプリントすることを目的としたものです。

カメラで指定した画像を印刷しよう（DPOF 印刷）

印刷する画像の指定や印刷時の設定などを、あらかじめカメラで行い、まとめて画像を印刷することができます。設定方法については、お使いのカメラの使用説明書を参照してください。

1

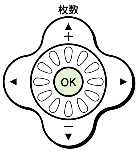




カメラで DPOF 設定したカードを、カードスロットに差し込む

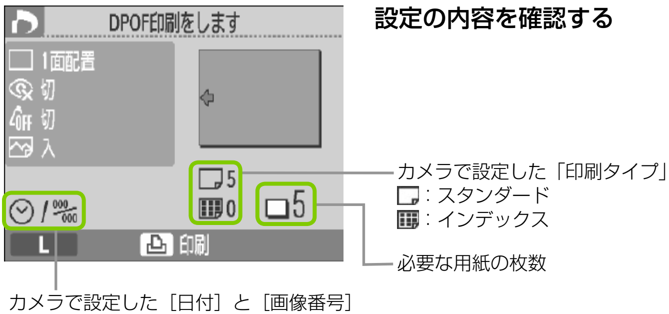
▶ ［印刷指定画像があります　印刷しますか？］と画面に表示されます。

2



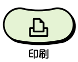
OK を押す

3



設定の内容を確認する

4



印刷する

● を押すと印刷がはじまります。

● 日付や画像番号は、カメラで設定した DPOF 情報になります。（セルフィーでは変更できません）
● 手順 3 の画面は、○（メニュー）を押して［DPOF 印刷］を選び、**OK** を押しても表示できます。ただし、カメラで DPOF の設定をしたカードを差し込まないと、メニュー画面に［DPOF 印刷］は表示されません。

携帯電話の画像を印刷しよう

赤外線通信（IrSimple、IrDA IR）や、Bluetooth に対応した携帯電話の画像を、ケーブルでつながずに印刷することができます。

- パソコンとセルフィーを無線で通信させることはできません。
- 転送できる画像のファイルサイズは、最大で約 2 ～ 3MB です。（お使いの携帯電話によって異なります）
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷がはじまるまで時間がかかることがあります。
- 動画やメール、電話帳の内容、インターネットやメール添付の URL からダウンロードした画像は印刷できません。
- お使いの携帯電話の機種によっては、カードに保存した画像を印刷できないことがあります。
- 印刷される画像の向きはセルフィーで自動的に設定されます。
- お使いになる用紙サイズによっては、画像の上下左右が切り取られて印刷されることがあります。

動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/cpp でご確認ください。

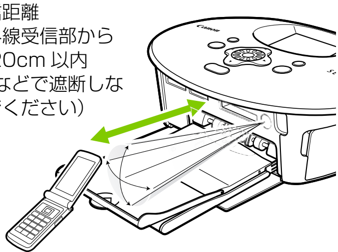
赤外線通信（IrSimple、IrDA IR）で印刷しよう

IrSimple や IrDA IR の赤外線通信対応の携帯電話で撮った画像を、ケーブルでつながずに印刷することができます。なお、携帯電話の使いかたや、赤外線通信による印刷方法については、お使いの携帯電話の使用説明書を参照してください。

1 セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

2 携帯電話からセルフィーに画像を送る

▶ 通信が終わると、印刷がはじまります。



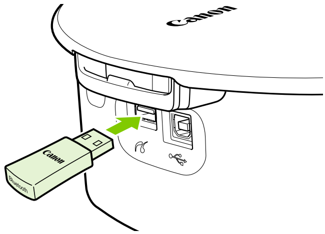
正しく通信できないときは、携帯電話を赤外線受信部の正面に近づけて操作してください。

Bluetooth で印刷しよう

Bluetooth ユニット BU-30（別売）を使うと、Bluetooth 対応の携帯電話で撮った画像を、ケーブルでつながずに印刷することができます。なお、携帯電話の使いかたや、Bluetooth による印刷方法については、お使いの携帯電話の使用説明書を参照してください。

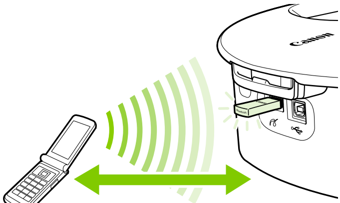
1 セルフィーにカードが差し込まれていないことやパソコンにつながっていないことを確認する

2 Bluetooth ユニットを取り付ける



- BU-30 についているカバーを取り外し、図のように差し込みます。
- セルフィーの電源を入れます（p.14）。

3 携帯電話からセルフィーに画像を送る



通信距離　約 10m 以内

- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅します。

▶ 通信が終わると、印刷がはじまります。

- 通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅しますが、通信が中断されると Bluetooth ユニットの点滅が消えます。そのときは、携帯電話に表示されるメッセージにしたがって、もう一度操作してください。
- 通信距離が 10 m以下でも、下記条件では電波状況が変わるため、正しく通信できなかったり、通信速度や印刷速度が遅くなることがあります。
  - Bluetooth ユニットと携帯電話の間に障害物がある
  - 磁場、静電気、電波障害が発生している場所で使用している

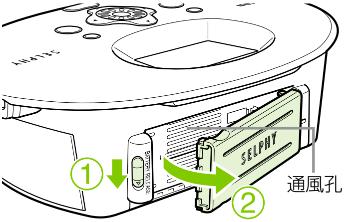
携帯電話から接続先の機種名を選ぶときは、「Canon CP790-XX:XX:XX（X は英数字）」を選んでください。

バッテリーを使って印刷しよう

バッテリーパック NB-CP2L（別売）を使うと、コンセントのない場所でも画像を印刷することができます。なお、フル充電したバッテリーで、L サイズの用紙を約 36 枚印刷することができます。

バッテリーを取り付けよう

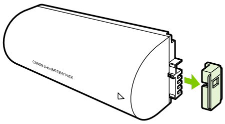
1



バッテリーカバーを取りはずす

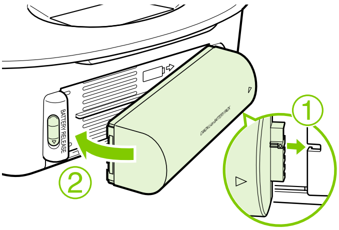
- ①の方向へスイッチを動かしたまま、②の方向へ動かしてはずします。

2



バッテリーの端子カバーをはずす

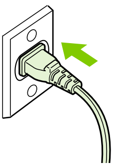
3



バッテリーを取り付ける

- ①の方向へ差し込んだあと、②の方向へ「カチッ」と音がして、ロックされるまで動かして取り付けます。

バッテリーを充電しよう



セルフィーに電源をつなぐ（p.12）

▶ 充電がはじまり、[ ] が画面に表示されます。

▶ 充電は約 4 時間で完了し、[ ] が消えます。

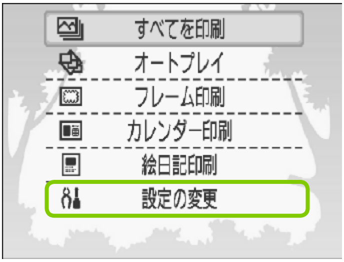
- 充電中にセルフィーを使うときは、電源を入れる（p.14）と使うことができます。また、電源を切る（p.14）と [ ] が表示され、充電が再開されます。

- バッテリーの注意事項については、バッテリーに付属の使用説明書を参照してください。
- [ ] が表示されている状態で、⏻ 以外のボタンを約 3 秒以上押すと、[ ] の表示が消えます。また、画面が消えている状態でも充電中のときは、⏻ 以外のボタンを押すと、約 10 秒間だけ [ ] が表示されます。

セルフィーの設定を変えよう

セルフィーの各種機能を目的に応じて、自分好みに変えることができます。ここでは基本的な操作方法を説明しますので、各機能の詳しい内容については、p.44 ～ p.45 を参照してください。なお、ここで設定した内容は、セルフィーの電源を切っても記憶されています。

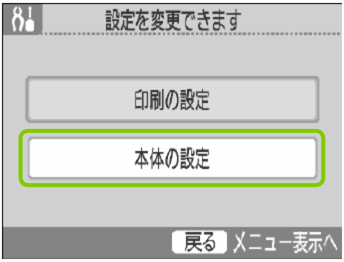
1



設定の変更画面を表示する

- ○(メニュー) を押します。
- ▲ か ▼ を押すか、を回して［設定の変更］を選び、**OK** を押します。

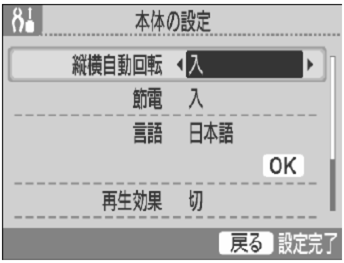
2



本体の設定画面を表示する

- ▲ か ▼ を押すか、を回して［本体の設定］を選び、**OK** を押します。

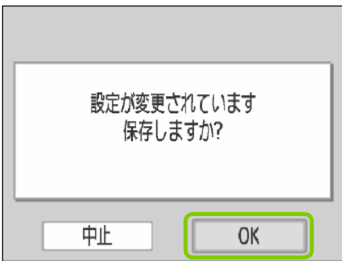
3



設定を変更する

- 設定内容や変更方法については、各項目（p.44 ～ p.45）を参照してください。
- 設定が終わったら、○(戻る) を押すと確認画面が表示されます。

4



設定する

- ◀ か ▶ を押すか、を回して［OK］を選び、**OK** を押すと設定されます。
- メニュー画面が表示されますので、○(戻る) を押して画像表示画面に戻ります。

画像の縦横自動回転を切ろう

カメラの縦横自動回転機能を［入］にして、縦位置で撮影した画像は、縦位置で表示されますが、この機能を使わずに横位置で表示します。

［縦横自動回転］を［切］にする

- ▲か▼を押すか、◎を回して［縦横自動回転］を選び、◀か▶を押して［切］を選びます。

節電機能を変えよう

約 5 分間操作や印刷を行わないと自動的に電源を切る設定（節電モード）を解除します。

［節電］を［切］にする

- ▲か▼を押すか、◎を回して［節電］を選び、◀か▶を押して［切］を選びます。

表示される言語を変えよう

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げのときは日本語に設定されています。



言語を選んで設定する

- ▲か▼を押すか、◎を回して［言語］を選び、**OK** を押します。
- 表示される左の画面で▲、▼、◀、▶を押すか、◎を回して言語を選び、**OK** を押すと、言語が切り換わります。

言語設定は、**OK** を押したまま ○(メニュー) を押すと表示される画面で変えることもできます。

再生効果を変えよう

画像を選んで印刷（p.14）するときや、オートプレイ（p.31）で画像が切り換わるときの効果を設定することができます。

再生効果を選ぶ

- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して［再生効果］を選び、◀ か ▶ を押して効果を選びます。

セルフィーを初期状態に戻そう

セルフィーに行った設定をすべて解除し、初期設定の状態にもどします。

初期設定にもどす

- ▲ か ▼ を押すか、◎ を回して［初期設定］を選び、**OK** を押します。
- 確認画面が表示され、**OK** を押すと初期設定の状態に戻ります。

故障かな？と思ったら

「セルフィーが故障したのかな？」と考える前に、下記の例を参考に確認してください。問題が解決しないときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

電源

■電源が入らない

- 電源が正しくつながっているか確認してください (p.12)。
- バッテリー（別売）をお使いのときは、充電されたバッテリーを使ってください (p.42)。
- 画面が表示されるまで、⏻ を押したままにしてください (p.14)。

印刷

■印刷できない

- インクやペーパーカセットが正しく入っているか確認してください (p.12)。
- インクがないときは、新しいインクに交換し、用紙がないときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください (p.15)。
- 用紙とペーパーカセット、インクの組み合わせが正しいか確認してください (p.10)。
- カメラやカード、パソコンを同時につないでいると印刷できません。複数つないでいる機器を取り外してください。
- インクシートがたるんでいないか確認してください (p.10)。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください (p.11)。
- セルフィーは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。パソコンにつないでいるときは、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

カードから印刷できない／画像が表示されない

- カードが、正しいカードスロットにラベル面を上にして奥まで入っているか確認してください (p.13、p.14)。
- 対応画像か確認してください (p.13)。
- 専用のアダプターを使わずに、カードをカードスロットに差し込んでいないか確認してください (p.13)。

カメラから印刷できない

- セルフィーとカメラが正しくつながれているか確認してください (p.38)。
- カメラが PictBridge に対応しているか確認してください (p.38)。

パソコンから印刷できない

- 正しい手順でソフトウェアをインストールしているか確認してください (p.34)。
- セルフィーとパソコンを、USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください。
- Windows をお使いのときは、プリンターがオフラインになっていないか確認してください。オフラインになっていたら、プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Macintosh をお使いのときは、プリンタリストにお使いのセルフィーが登録されているか確認してください。

■日付印刷ができない

カードから日付印刷できない

- 日付を入れて印刷する設定を行っているか確認してください（p.20）。
  DPOF 印刷を行うときは、日付の設定は DPOF を設定したカメラで行います。

携帯電話から日付印刷できない

- 携帯電話の画像（p.40 ～ p.41）は、日付を入れて印刷できません。

カメラから日付印刷できない

- カメラで日付の設定が［入］になっているか確認してください。なお、「標準設定」に設定したときは、セルフィーの日付印刷の設定が反映されます。

■きれいに印刷できない

- インクシートや用紙が汚れていないか確認してください。
- セルフィー内部にホコリなどが付着していないか確認してください（p.48）。
- セルフィーに結露が発生していないか確認してください（p.48）。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていないか確認してください（p.9）。

■パソコンの画面の色と印刷された色が違う

- パソコンの画面と印刷では、発色の方法が異なります。また、画面を見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、画面の色の調整によっても違ってきます。

■パソコンで印刷中断後に再開したら、すでに印刷した画像が印刷されてしまった

- Macintosh をお使いのときは、印刷を中断したあとで再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

用紙

■用紙がカセットに入らない

- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズがあっているか確認してください（p.10）。

■きちんと紙送りされない

- 用紙やペーパーカセットが正しくセットされているか確認してください（p.12）。

■よく紙が詰まる

- ペーパーカセットに用紙を入れすぎていないか確認してください。
  19 枚以上（ワイドサイズは 13 枚以上）の用紙を入れないでください。
- ペーパーカセットの上に印刷済みの用紙を 19 枚以上（ワイドサイズで 13 枚以上）ためていないか確認してください。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください（p.11）。

■枚数分の印刷ができない／用紙があまる

- 「印刷中に印刷を中止する」、「インクシートを引っ張る」などの操作を行うとインクを消費します。また、複数枚を印刷している途中で用紙がなくなったときに、インクを抜いても、インクを消費しますので、用紙を補充するときは、インクを抜かずにペーパーカセットだけを抜いて、用紙を補充してください。

■用紙が出てこない

- 用紙の一部がセルフィーの前や後（一時排出口）（p.8）より出ているときは、用紙を持って取り出してください。ただし、用紙を軽くつまむ程度の力で取り出せないときは、絶対に無理に引っ張らないでください。そのときは、電源を一度切り、もう一度入れなおす操作を、用紙が出てくるまで繰り返してください。

エラーメッセージが表示されたら

セルフィーに異常が発生すると、画面にエラーメッセージと対応方法が表示されますので、表示される対応方法にしたがって操作してください。また、セルフィーとカメラをつないでいるときは、カメラの画面にもエラーメッセージが表示されることがありますので、あわせて確認してください。
なお、表示される対応方法を行っても、同じエラーメッセージが表示されるときは、別紙の相談窓口へご相談ください。

日ごろの取り扱いについて

- 強い力や振動を加えないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。外装が変質することがあります。
- 周囲の温度によっては、セルフィーが一定温度以上になると一時的に印刷が停止しますが、故障ではありません。温度が下がると印刷が再開されますので、少しお待ちください。また、「連続して印刷するとき」、「周囲の温度が高いとき」、「セルフィー背面の通風孔がふさがれるなどして、セルフィー内部の温度が高いとき」は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
- 本機器を寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、本機器をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。
- セルフィーが汚れたときは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
- バッテリーカバーや通風孔（p.8、p.42）にホコリがついたときは、インクを取り外して（p.15）からホコリをとってください。通風孔からホコリが入ると、きれいに印刷されないことがあります。

> 絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤を使ってセルフィーを拭かないでください。外装が変質や変形したり、塗装がはがれることがあります。

主な仕様

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

SELPHY CP790

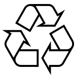
印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコートつき）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調数	256 階調／色	
インク	専用カラーインク（Y/M/C ／オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ、L サイズ、カードサイズ（全面シール、8 分割シール含む）、ワイドサイズ	
印刷サイズ	**フチなし**	**フチあり**
ポストカードサイズ	100.0 × 148.0mm	91.3 × 121.2mm
L サイズ	89.0 × 119.0mm	78.6 × 104.6mm
カードサイズ	54.0 × 86.0mm	49.5 × 66.2mm
（8 分割シール 1 枚あたり）	22.0 × 17.3mm	–
ワイドサイズ	100.0 × 200.0mm	93.8 × 124.6mm
印刷時間 *1	**メモリーカードから印刷時／カメラ（PictBridge）接続時**	
ポストカードサイズ	約 47 秒	
L サイズ	約 39 秒	
カードサイズ	約 24 秒	
ワイドサイズ	約 60 秒	
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
液晶モニター	3.0 型 TFT 液晶カラーモニター、約 23 万ドット	
インターフェース		
USB	PictBridge 対応機器：TypeA パソコン接続時：TypeB	
無線	IrSimple、IrDA IR （プリントビーム） Bluetooth*2 （プリントビーム）	
メモリーカード	CF カード、マイクロドライブ、xD-Picture Card*3、SD メモリーカード、miniSD カード、SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、MultiMedia カード、MMCplus カード、HC MMCplus カード、MMCmobile カード、RS-MMC カード、microSD カード *3 、microSDHC カード *3、MMCmicro カード *3、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ *3	
動作温度	5 ～ 40℃	
動作湿度	20 ～ 80%	
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W バッテリーパック NB-CP2L（別売）	
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）	
大きさ（突起部除く）	本体のみ：246.9 × 178.0 × 86.4mm バスケット収納時：276.8 × 198.0 × 211.6mm	
質量	本体：約 1100g、バスケット：約 400g	

*1 イエロー面の印刷開始から排紙完了まで。
*2 Bluetooth ユニット BU-30（別売）が必要。
*3 専用アダプター（市販品）が必要。

コンパクトパワーアダプター CA-CP200 W

定格入力	AC100～240V（50/60Hz） 1.5A（100V）～0.75A（240V）
定格出力	DC24V、2.2A
大きさ	122.0 × 60.0 × 30.5mm（電源コードを除く）
使用温度範囲	0～45℃
質量	約310g

・当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



・不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
・詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
　ホームページ：http://www.jbrc.com
・プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
・被覆をはがさないでください。
・分解しないでください。

注意

指定外の電池／バッテリーを使うと、爆発などの危険があります。
使用済みの電池／バッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになったときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

妨害電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。プリンターユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDHC ロゴ、miniSDHC ロゴは商標です。
- Portions of the code used in this firmware are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、別紙の相談窓口までご連絡ください。
- このプリンターやソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、セルフィーで印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。



CDI-J394-010 PRINTED IN CHINA